

《 コース名 》

講座名「 開港 150 周年記念

開港都市に選ばれた「新潟」－その歴史と魅力－

1 趣 旨

新潟は函館・横浜・神戸・長崎と共に、安政五カ国条約によって開港地に指定され、明治元年に開港しました。

なぜ、新潟は開港5港の一つに選ばれたのでしょうか？本講座では、開港都市に選ばれるに至るまでの新潟、そしてその後の新潟を様々な切り口から検証し、「新潟」を浮き彫りにします。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール 等

3 曜日・時間

曜日 午後 時 ～ 午後 時

4 講座コーディネーター

5 プログラム（テーマは25字以内、内容は60字以内が目安です）

テーマ	内容
「開港前夜の新潟」 ～江戸時代の新潟～	開港前夜となる江戸時代の「新潟」はどんな様子だったのでしょうか。我々の先祖が暮らした江戸時代の「新潟」へタイムトリップします。
「北前船」が運んだもの① ～板子一枚下は地獄～	江戸中期から明治中頃まで、蝦夷（北海道）と大阪の間を、結ぶ日本海航路に就航した廻船の北前船。各地に大きな影響を与えた「北前船」の概要を見て行きます。
「北前船」が運んだもの②	北前船最大の寄港地であった新潟。商品のみならず、北前船によって、様々な文化がもたらされました。豪商と料亭文化と花柳界などを概観します。
「北前船」が運んだもの③ ～まつりと「新潟」～	まつりの歴史を紐解くと、そのまちの歴史が見えてきます。海の安全を祈り、田の収穫を祝う「新潟」の祭りの歴史を通し、新潟を見つめ直します。
「開港5港」に選ばれた新潟	新潟が開港5港であったことは、あまり知られていないのではないでしょうか？なぜ新潟が開港5港に選ばれたのか、他の港との比較などを通し検証していきます。
「新潟」の食① ～にいがたの郷土料理～	にいがたの食の歴史を紐解くとともに、「食」を通し新潟の地域性を考えます（郷土料理、発酵食品、米、酒、）。
「新潟」の食② ～ショック？洋食～	開港によりもたらされた洋食。当時の洋食の様子や、人々がどのように洋食を受け入れたのかを見ていきます。
「柳都」新潟のまちなみ ～堀と暮らす～	新潟市にはかつて多くの堀が張りめぐらされていました。物流の動脈としての堀、そして堀がもたらした文化的側面を概観します。
「新潟」の交通網 ～船から鉄道へ～	舟運から鉄道、そして交通道路。交通網の変遷における、産業や我々のくらしの変化を考えます。
これからの港町にいがた	

※講座番外編

「150年前にタイムスリップ。開港当時の洋食を食べよう！！」

開港当時、新潟の人々はどんな「洋食」を食べていたのでしょうか？また、洋食はどのように受け入れられたのでしょうか？実際に当時の「洋食」を食べながら、一緒にタイムトリップしましょう。

※ ご記入の際は、語尾を「です。ます。」調で統一し、受講者主体の表現でご記入ください。

新潟学コース

「開港 150 周年記念 開港都市に選ばれた「新潟」ーその歴史と魅力ー」

1 趣 旨

新潟は函館・横浜・神戸・長崎と共に、安政五カ国条約によって開港地に指定され、明治元年に開港しました。なぜ、新潟は開港5港の一つに選ばれたのでしょうか？本講座では、開港都市に選ばれたに至るまでの新潟、そしてその後の新潟を様々な切り口から検証し、「新潟」を浮き彫りにします。なお、本講座は市民提案講座のご提案内容を一部反映しています。

2 学習方法

前期 講義 後期 ゼミナール 等

3 希望曜日・時間

木 曜日 午後 7 時 ～ 午後 9 時

4 講座コーディネーター

新潟大学人文学部教授 原 直史／新潟市歴史博物館副館長 伊東 祐之

5 プログラム・指導講師

回	月 日	テーマ	内 容	講 師
1	/	「開港前夜の新潟」 ～江戸時代の新潟～	開港前夜となる江戸時代の「新潟」はどんな様子だったのでしょうか。我々の先祖が暮らした江戸時代の「新潟」へタイムトリップします。	新潟大学人文学部 教授 原 直史
2	/	「北前船」が運んだもの① ～板子一枚下は地獄～	江戸中期から明治中頃まで、蝦夷(北海道)と大阪の間を、結ぶ日本海航路に就航した廻船の北前船。各地に大きな影響を与えた「北前船」の概要を学びます。	新潟大学人文学部 教授 原 直史
3	/	「北前船」が運んだもの②	北前船最大の寄港地であった新潟。商品のみならず、北前船によって、様々な文化がもたらされました。豪商と料亭文化と花柳界などを概観します。	新潟市歴史博物館 副館長 伊東 祐之
4	/	「北前船」が運んだもの③ ～まつりと「新潟」～	まつりの歴史を紐解くと、そのまちの歴史が見えてきます。海の安全を祈り、田の収穫を祝う「新潟」の祭りの歴史を通し、新潟を見つめ直します。	新潟市歴史博物館 学芸員 渡邊 久美子
5	/	「開港5港」に選ばれた新潟	新潟が開港5港であったことは、あまり知られていないのではないのでしょうか？なぜ新潟が開港5港に選ばれたのか、他の港との比較などを通し検証していきます。	新潟大学教育学部 教授 麓 慎一
6	/	「新潟」の食	にいがたの食の歴史を紐解くとともに、「食」を通し新潟の地域性を考えます(郷土料理、発酵食品、米、酒、洋食)。	新潟県立歴史博物館 主任研究員 渡部 浩二
7	/	<公開講座> 新潟の文明開化	明治初期、県庁所在地となったことで新潟は文明開化のモデル地区となる。何がかわり何が残ったか。イザベラ・バードの目に映った新潟にも触れます。	新潟大学人文学部 准教授 堀 健彦
8	/	「柳都」新潟のまちなみ ～堀と暮らす～	新潟市にはかつて多くの堀が張りめぐらされていました。物流の動脈としての堀、そして堀がもたらした文化的側面を概観します。	新潟市歴史博物館 副館長 伊東 祐之
9	/	「新潟」の交通網 ～船から鉄道へ～	舟運から鉄道、そして交通道路。交通網の変遷における、産業や我々のくらしの変化を考えます。	新潟ハイカラ文庫 主催 横木 剛
10	/	これからの港町にいがた	1回～9回を振り返り、開港都市に選ばれた新潟の歴史と魅力から、これからの新潟に伝えていくべきものを考えます。	新潟大学人文学部 教授 原 直史 新潟市歴史博物館 副館長 伊東 祐之